



発行所 アシュラムセンター  
523-0894 近江八幡市中村町 567-2  
Tel 0748-33-4030  
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ  
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772  
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって事前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

仮にこう考えてみよう。神がもし、真実な方ではなかったら、きつと今頃、天国は大騒ぎになっているに違いない。「ルターを出せ」、「カルバンはどこだ」、「おれの買った免罪符は」、「万民救済のはずではなかったのか」、「予定説はどうなっている」と。

私たちの先達たちの多くは、「見ないで信じる者は幸いである」と、その生涯を走り抜いていった。そして批判を恐れず言うならば、全世界の教会は、誰一人見たことも、経験したこともないものを、さも真実であるかの如く語り、教えている。少なくとも、未信者の目には、私たちキリスト教徒は高齢者や弱者の弱みにつけ込み、騙す、詐欺師のような者だと映っていたとしても、文句は言えまい。ましてや私たち信徒の中でも、この教えとあの奇蹟は、保留しておいた方が良くだろうと密かに、いや公に考える者がいたとしても不思議ではない。

瞑想

神は真実な方です。

コリントの教会に宛てた手紙の中で、最初彼らを「キリスト・イエスによって聖なる者とされた人々、召されて聖なるものとされた人々へ」(Iコリント1:2)と最大限の賛辞を持って呼びかける。この後の本文で繰り広げられる彼らへの叱責の言葉とは裏腹に、パウロは、コリントの教会員を「あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされていてい

す」(Iコリント1:5)と持ち上げるのだ。2章以降で語られる激しい言葉を知らぬ者にとつて、それはあたかも彼の皮肉の言葉ではと、思ってしまうほどだ。しかも、パウロは続けてこう言う。「神は真実な方です。この神によつて、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです」(Iコリント1:9)と。これは一体何事か、神が真実なお方であるなら、

こんな墮落し罪にまみれたコリントの教会を聖なる者と呼んだり、招きに入れられているなどと平気で言おうはずがない。やっぱり神は、言葉だけの不真実なものではないだろうか。そんな思いが、愚か私心の心の中に湧き上がってくる。しかし、それは大きな間違いなのだ。

Iコリント1:9

主幹牧師 榎本 恵

「神は真実な方です。この神によつて、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです」(Iコリント1:9)と。これは一体何事か、神が真実なお方であるなら、こんな墮落し罪にまみれたコリントの教会を聖なる者と呼んだり、招きに入れられているなどと平気で言おうはずがない。やっぱり神は、言葉だけの不真実なものではないだろうか。そんな思いが、愚か私心の心の中に湧き上がってくる。しかし、それは大きな間違いなのだ。

ださっている。「神の真実」とは、神の側に信じるに足るものがあるかどうか、などというものではなく、この裏切り、逃げ、知らぬふりする私をとことん愛し、赦し、信じ抜いてくださる「真実」、それが「神の真実」なのだ。そうであるならば、コリントの教会の人々を、パウロ自身が最上級の言葉をもって表現した理由も頷ける。そしてそれは「神は真実であるかどうか」と横着なことを考える私たちをも同じように扱ってくださるだろう。

ところが、その神の大きな恵みと信頼のうちに入れられたはずであるのに、「ああ、それなのに、それなのに、あなたたちは、、、」。コリントの手紙には、そんなパウロの嘆息が聞こえてくる。そしてそれは、今もなお、現代のコリントの教会、すなわち私たちにも聞こえてくる。留保しながら信じ、疑いの眼差しを持って信じ、信じているふりをしながら信じているような私たちさえ、真実の眼差しを持って信じ切ってください。神。その方に私は応えているか。

友よ、信仰の薄いことを、信じることの少ないことを嘆くことはもうやめよう。それよりは、そんな不真実な私を、信じてくださる神を見上げ、その真実に応えていくものとなるよう。

# 第一回四国一日アシラム感想



初参加の四国中央ゴスペルチャーチより  
河村姉、近藤姉、川口師(アシラム昼食交わりの時)

【1】川口 宏 「どうして？」という  
「アシラム」に参加して、まず最初に  
びっくりしたことは、  
聖書1章を30分間、ただ  
ひたすらに黙想する  
ということでした。「ど  
のみことが気になる  
のか。」また、「どうし  
て、このみことばが  
気になるのか。」この

「どうして？」という  
思いに対して、神様が  
直接語りかけてくださ  
るといふものでした。  
次にびっくりしたこと  
は、ファミリーが与え  
られ、ファミリーの一  
人一人のために、1年  
間毎日祈るといふこと  
です。そしてもうひと  
つ。この集会が、あま  
りにも静かだつ  
たということだ  
す。アドバイス  
や相談が全くな  
い。あくまで  
も主が直接語つ  
てくださり、そ  
の解決を聖書の  
みことばから聴  
く。このことに  
徹しているとい  
うことです。ど  
こまでも、ただ  
イエス様だけ。  
そしてどこまで  
も、ゆっくり、  
愚直に、ぶれず

に主と共に歩んでい  
く。まさに、高貴な無  
駄な時間。愛するイ  
エス様との二人だけの  
親密な時間。を、いつ  
も一番にしていく生き  
方。このシンプルな生  
き方こそが、私達クリ  
スチャンの土台なんだ  
ということ。改めて  
確認させていただきま  
した。そして私も、「あ  
なたの為に祈ってる  
よ。」と言われた時に、  
「ああ、本当に祈られ  
てるんだ。」と思える  
者になりたいたいと、強  
く願うようになりまし  
た。そして今は、私の  
祈りのノートにも、少  
しずつ名前が増えてき  
ています。また新たに  
「みことばの黙想」と  
いうノートが増えまし  
た。私も榎本保郎先生  
のように、個人の、聖  
書1日1章を毎日  
ノートに、そして心に  
刻んでいきたいと願っ  
ています。

（四国中央ゴスペル  
チャーチ牧師）

【2】近藤香奈江  
教会の掲示板に、ア  
シラムのチラシを見  
かけた時から、アシ  
ラムって何だろうと気  
になっていました。三  
島の教会でするなら近  
くだし行こうと思つた  
ら行けるけど...と思つ  
ている時に、川口先生  
が、行ける人は申し出  
てくださいと言われま  
した。私は、ずっと気  
になつていたので出席  
することにしました。  
アシラムとは何かわ  
からないままで。当日  
になつて、アシラム  
は静まつて神様の語り  
かけを受けることだと  
わかりました。神様は  
私に語りかけたとい  
に、他のことに気をと  
られて神様からのメッ  
セージを受け取ること  
が出来てないんだ。神  
様が私に与えてくださ  
いと思ひました。箴言  
16章のみ言葉で黙想し  
ましたが、心の中に染  
み渡るような感覚を受

（四国中央ゴスペル  
チャーチ）

【3】河村 英子  
また、共に祈り合う  
ファミリーの皆さんに  
当時失業中だったの  
で、ふさわしい職場が  
与えられるように祈つ  
ていただけることにな  
りました。私の年齢は  
49歳で、正社員で雇わ  
れるには厳しいかな  
と思つていましたが、  
祈つていただいて、神  
様は不可能を可能に変  
えられるお方ではない  
かと思つて、就活に励  
むこととなりました。  
それから2ヵ月後に、  
就職が正社員で決ま  
り、現在感謝しつつ会  
社に通つています。祈  
りの応えであることを  
自覚し、神様の子とも  
としてふさわしく会社  
で働けますように、そ  
のためには神様との交  
わりをしっかり持つてい  
きたいと思ひます。

（四国中央ゴスペル  
チャーチ）

（四国アシラムの案

ご献金者  
敬称略  
10月分  
明石シオン 朝子 雄子  
沖田 金山 渡辺 渡井 角野 今泉 村瀬 伊達 (含・新修造場のために) 和子  
榎本 橋本 第16回 国際正義・ 和子  
第16回 国際正義・ 健一 和子 健一 和子 京子 孝子 昭子  
和子 健一 和子 健一 和子 京子 孝子 昭子  
山田 喜久子 吉田 恵美子  
鹿屋 聖書教室  
キリスト教会  
ちいば教師  
記念チャペル  
夕群  
福園聖書教室  
川口百合子  
宮任アシラム  
常任運営委員会  
安伸 ユリ 広子  
カフェちいば  
聖書入門講座  
大山 悠子  
足立タツコ  
第7回  
オープンの里  
アシラム  
小笠原幸一  
センター  
聖書教室  
広野祈の家  
和子 和子  
猪瀬山 和子  
菅原 福島 浜通り  
アシラム 清哉  
島 小西 波本  
榎本 榎本  
河村

内を見た時、アシラムって何だろう、静かにイエス様が私の心のドアをノックしているように感じ参加することになりました。榎本先生から箴言16章24節のみ言葉「親切な言葉は蜜の滴り。魂に甘く、骨を癒す。」より、親切な言葉と親切そうなお話があった時、私が思っていた親切な言葉と神様が言われる親切な言葉とは、はるかに大きな違いがあった事に気がつき、本題に入る前から本当にその通りだなと先生のお話がストンと心にはまるようにして始まりました。

四国アシラムのために遠くからはるばる参加されている兄弟姉妹がおられることにも驚きました。自分から積極的に声をかけようと張り切って参加しましたが、そのような心配はしなくていいよと言われているように

も幸福感に満ちて安心している自分を発見しました。この素晴らしい体験を神様に感謝します。今も以前のようでも、私たちが考えている以上に素晴らしい主のみ言葉を祈り、確かに天で聴かれています。日々を主と共に歩んでいきたいです。

## 第24回北陸富山アシラムに参加して

藤本喜代枝

10月18、19日に、インラックス大山研修センターで富山アシラムに参加させて頂きました。

ご案内をいただきましたが、お断りしました。開催日近くになつて岩城兄よりお誘いの

お電話がありました。「石田哲夫兄が車で金沢から送り迎えをしますからぜひ参加して下さい」と。そこで思い切って参加する事にしました。

この事はお二人に聖霊様が働き下さいましたと感謝します。

私も聖霊様のお導きにより参加させていただきました。

参加者は講師の加々美要先生と石田哲夫兄、岩城輝雄兄、福井の西田光江姉、私の5名でした。

主題は「神の召しと選び」ペトロの手紙Ⅱだから兄弟たち召されていていること

選ばれていることを確かなものとするようにいっそう努めなさい。

静聴の時間が3回あり

(日本基督教団 金沢元町教会)

ファミリーが決まっております、その中で箴言16章のみ言葉をたっぷりある時間の中ひたすら主に心を向けて、主が私に語ってください事を聴く、そして分かち合い祈る時間を持ちました。こんな風に神様のみ言葉を味わった事はありませんでした。初めは神様は語って下さるかな、何か言わなければいけないかと心配しましたが、私自身をすべて主に委ね静まり聴くうちに心が何と

ペトロの手紙Ⅱは普段余り目を通してない聖書の箇所でした。「わたしの魂は沈黙して、ただ神に向こう。神にわたしの救いはある。詩62」

沈黙して聖書を熟読し、聖書を通して神さまがお語りくださる心をさとり得る時をすごしました。

恵の時、充滿の時を共にし祈りを捧げる事が出来感謝でした。

お互いに「祈りの課題」が与えられ、毎朝祈り励むことを願いました。

密度の濃い2日間は神様からの恵みと感謝します。

最後に

神とともに在してまた会う日まで、を手をつなぎ輪になり讚美して終了しました。

イエスは主なりアーメン



吉田すみえ 静岡聖書教室 萌子 治朗  
安仲 池谷 壱大 浜  
キリスト教会 東聖書教室 山崎 義人  
山崎知恵子 片岡フジ子 康子 歌子 妙子  
黒兄 ちいば 祈り 尚生 直子 輝雄  
兄玉 森山 岩城 第24回 北陸富山 アシラム 61口  
¥1,565,923

ヨセフ基金 (義援金) 国際正義・平和アシラム 藤田 久美 柴山 広子  
常任運営委員会 菅原 博 ちいば  
アツちゃん・ シュラム君 吉田すみえ 和子  
榎本 橋本 米田 歌子 無 名氏 11口  
¥83,832

会堂改築のために 榎田 速明 1口

誕生日感謝 和子 1口

榎本

合計 74口  
¥1,664,755

尊い献金、ご献品、お祈り、お便り、電話、メッセージ、そして、共にアシラム！感謝いたします

## 証 (1982.10.17 受洗時)

角野 敏子 (2019.9.24 88歳 御召天)

大阪聖書教室に毎月ご出席。準備、会計ご奉仕。  
晩年は知華子姉(ご長男嫁)運転で。  
入院先からもご参加され、一同、心打たれた。

コイノニアでの一日一章も金曜のところだけの六日飛びに学ぶという不勉強ぶりでしたが、多くの方々の熱い祈りに支えられ、また榎本先生のテープを与えられ、御言の一つ一つに深く測り知れない神様のみ心を知り、み声を聞く力を与えて下さいました。「主よ、わが終りと、わが日の数のどれほどであるかをわたしに知らせ、わが命のいかにはかないかを知らせてください。わたしの望みはあなたにあります。」(詩篇39:4,7)「あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない」(ルカ16:13)私の傲慢と罪深さを知り、自信もプライドも打ち砕かれ、地の底へ引き降ろされるのを覚えたのもこの頃でした。不思議でした。ちょうど10年目の10月10日パートになる決心ができたのです。その日の内に社長に申し入れましたが、急な話でなかなか受け入れてもらえず、年も明け、1月末、とうとう私から「パートが無理でしたら辞めさせて下さい。」と申し入れ、やっと受け入れて下さいました。今考えると顔から火の出る思い。パートに踏み切れ、次は紀南アシュラムに導かれ、今度は「主のみ前に新しく生まれ変わらせて下さい。」と祈りの課題に書きました。そして、唄野隆先生による電話の一日一章も与えられ、みことばは私の日毎の糧となり、神様は世を愛し心からより頼もうとしない私を導いて下さり、世の中の空しさを教えて下さいました。主イエスの十字架の血潮により、義とされ、復活によって新しい命に生かされている大いなる恵みと、助けて下さることを信じ、決心しました。

集会やランチョンでの感激と反省の繰り返しから、神様は、私を数え切れない主のみ恵みに感謝の祈りと主へのさんびで一日の初めとし、

感謝の祈りでの一日の終わりを与えて下さいました。そして教会のコマーシャルのようにしか聞いていなかった「溢れる愛のよろこび」を私に現実のものとして下さいました。この傲慢な私の悔い改めを、このようなよろこびとみもとへの立ち帰りをずっと待ち望んで下さるみ心を知りました。死んでいた私を生き返らせ、いなくなっていたのを見つけ出して下さいました。「神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしの内に正しい霊を与えてください」(詩篇51:10)皆様の永い間のお祈りありがとうございました。これからも私の信仰が確かなものでありますよう、このよろこびを伝えて歩む者と祈り続けて下さい。(堺大浜キリスト教会)(終わり)

※この証文は、ご葬儀の中でも中谷師により読まれました。



2016年クリスマス合同聖書教室にご参加。  
はるばる大阪から教会の皆様と。  
左から唄野師、波多姉、敏子姉、知華子姉。



親子孫、3代で大阪聖書教室にご参加されたことも。

## 第45回 年頭アシュラムご案内

主題 良くなりたいか 主題聖句 起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。 ヨハ5:8

期間: 2020年1月23日(木)~25日(土) 受付 PM1:00~ 開会礼拝 PM2:30~

会場: 関西セミナーハウス

奉仕者: 榎本恵師、遠藤誠一師(日基 安来教会牧師)山陰アシュラム推進者  
♪早野潤子姉(リラ・プレカリア、ハーブ奏者サクク師弟子)

会費: 22,000円(トリプル・ツイン)、28,000円(シングル) 4部屋

締切: 1月11日(土)



皆様のご参加、お待ちしております!



# 祈り

榎本 和子

(1979年12月発行のアシュラム誌より)

第4回年頭アシュラムを間近にして、大勢のアシュラムの友が心をこめて祈っていて下さることを思い、心から感謝を致します。

一ヶ月間、寸秒も絶えることなく、祈りを続けて頂くことは、大変なことだと思います。特に底冷えのする真冬の2時、3時に受持ちの時間の祈りを守るために、暖かい寝床を蹴って起き上がる辛さは、格別ではなかったでしょうか。また祈りのために、忙しい仕事の手を止めることに、ためらいを覚えられたことも、何度かあったのではないのでしょうか。さまざまな状況の中で、いろいろな障害を乗り越えて続けられた年頭アシュラムのためのお祈りは、主のみ前に束ねられ、積み上げられて、主は豊かな祝福をお与えくださるであろうと信じております。

連鎖祈祷について、教えられた二人の方がおります。お一人は、今はもう天上の人となられた今治の飯 李野さんです。

・・・或る時のこと、私達今治教会婦人会の会員達が船旅をしていました。修養会に出席するためだったかと思えます。船に乗った私達は浮々と心がはずみ、親しい交わりの中で時のたつのも忘れるくらい、おしゃべりが続き、笑い声が絶えませんでした。飯のママも私達の仲間にはいって楽しそうにしておられました。ふっと腕時計を見て、「ママの祈りの時間がきたので・・・」とひとり言のように言って、静かに立ち上がり、私達から離れて行かれました。そして、両手を膝の上で組み合わせ、目をつむって祈り始められたのです。楽しい交わりの中に浸りきっていた私達は、はっとしました。連鎖祈祷の期間中であつたことに気がついたので、或る人はママと同じように祈り、或る人はそっと坐を外して祈りを妨げないようにしました。さわがしかった船の上は急に静かになりました。それがどんなに楽しい時であろうとも、自分に与えられた祈りの時がくると、すっと立ち上がって仲間から離れ祈りにはいられたママの姿が、今も私の心に強く焼きついています。

もう一人は京都のN姉です。先日N姉からこんなお便りがきました。

・・・毎日の祈祷を受持ってくださいる方々のお名前と、そのお祈りの時間を一々あげて、御ひとりひとりがみ霊に満たされて祈る事が出来るように、また御健康が守られるように、毎日祈らせて頂いております。夜ねる前には夜中の零時から朝の5時までの祈りの受持の方々のお名前をあげて、そのお時間に目を覚まして、充分お祈りが出来ますように、み霊のお助けを願ってから寝ます・・・。

御息が貰われたアシュラム誌を読んで、連鎖祈祷に加わってくださったのですが、そのとりなしの祈りによって私はどんなに力づけられ、励まされたことでしょう。

このお二人の真実な祈りの姿勢に、私もならいたいと願っております。



和子母の祈りセンタークリスマス聖書教室にて



各地で開かれている祈りの家集会。  
"広野祈りの家"は12年目に。(猪瀬姉宅12月)

## あとがき

12月9日、福岡聖書教室があつた。ちょうどその日、アフガンで非業の死を遂げた中村哲さんの亡骸が、福岡に帰ってきた日だった。哲先生は、福岡のご出身。中学は西南学院の出身だったそう。クリスマスを前にして、どうしてこんなことがと思われた方も多いことだろう。しかし、彼の与えた影響はきつと永遠に残るものとなるだろう。

さて、来年の国際正義平和アシュラムが開かれる鳥山頭は、八田与一という、一人の日本人を顕彰し作られた公園だ。彼は、日本が台湾を統治していた時代、この地にダムを作り、灌漑施設を設け、広大な荒地を田畠に変えた人だ。台湾では教科書にも載る、最も有名な日本人である。

是非、今回の平和アシュラムで、中村哲さんのことを、八田与一さんのことを、平和の先駆者のことを思いたいと願っている。(恵)

1月の聖書教室など		(主な問い合わせ先) 0748-33-4030 アシュラムセンター
13(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)	
15(水)	カフェちいろば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)	075-643-2476 みんなのカフェちいろば
17(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00)	
19(日)	ちいろば牧師記念チャペルタ礼拝・愛餐会 (PM5:00)	
21(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)	
27(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:30~、PM2:00~)	
28(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)	
28(火)	桜美林リトリートアシュラム (桜美林大学荊冠堂 PM2:30)	
29(水)	ちいろば祈りの家 (東京都町田市 PM1:00)	0427-35-0917 黒見妙子姉
2/7(金)	阪神ミニアシュラム (神戸主恩教会 PM1:00)	

1月のアシュラムなど	
23(水) 25(土)	第45回 年頭アシュラム(関西セミナーハウス PM2:30) 奉仕者 遠藤誠一師、榎本恵師 <b>参加申し込み、受付中!</b>

2月のアシュラム予定	
1(土)	第50回 記念呉アシュラム (日本アイアンス呉教会) 0823-21-8571 奉仕者 榎本恵師 呉アシュラム事務局
アシュラム 17(月) ~ 19(水) ・ ツアー 19(水) ~ 21(金)	<p><b>第36回 台湾愛餐会(第17回 国際正義平和アシュラム)案内</b> 場所 台南市烏山頭風景区園 ジェームズ・サック教授(ルーテル学院大学)、キャロル・サック女史(ハーブ奏者)のお二人が講演・演奏されます。</p> <p>◎日本からの参加者は、 2月16日(日)pm4:00 高雄国際空港集合</p> <p>★17日(月)~19日(水) <b>台湾アシュラム</b> (会場は、八田与一記念公園内)</p> <p>★19日(水)~21日(金) <b>アシュラムツアー</b> (19日(水) 台南神学院訪問、台南市内観光 20日(木) 屏東パイフン族教会訪問、9族文化村観光 21日(金) 午後高雄国際空港解散)</p> <p>※詳しくは、アシュラムセンターまでお問い合わせください。</p>  <p>台湾より、王 美満牧師、打ち合わせ他、 和子母に台湾アシュラムの歴史をインタビュー</p>

2020年3月以降のアシュラム予定	
3月21日	第2回 茨城アシュラム
4月19~20日	第27回 三重アシュラム
4月29日	第23回 阪神一日アシュラム

## みことば



元アシュラムセンター代表・常任運営委員長  
元日本キリスト教団甲西伝道所牧師  
後宮 俊夫 師(2018.12.23召天 96歳)

あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共に  
おられるゆえ、おそれてはならない。おののいては  
ならない。

ヨシュア 1:9

1966年が始まった。昨年中、世光教会は多くの大  
きな恵みを与えられた。中でも、5月には団地伝道  
の拠点として桃陵友愛館が幾多の困難の中を導かれ  
て竣工し、その仕事を開始した。12月には多年念願  
として来た新会堂が竣工し、献堂式を挙げることに  
出来た。何れもがわたしたちの思いに勝る主の恵み  
であり、奇跡的な出来事であるといつてよい。然し、  
これで満足することなく、これにしっかりした内容  
を与えて行くことこそが世光教会の大きな責任で  
あることを思う。これらの設備を最大限に生かして  
用いて、地域に福音を伝えて行かなくてはならない。

昨年より教区の農村伝道の御用を仰せつかつて、  
その関係の集会に度々出席した。今日、都市の教会  
の牧師をしていてなんだと言われるのであるが、一  
応それはそれなりに意味のあることであるし、世光  
教会は決して単なる都市教会でなく、洛南の農村地  
域への伝道を使命としていることを考える時に、無  
駄なことをしているのではないと考えている。とに  
かくそれらの集会でよく問題になって来ることは農  
村に於ける伝道の壁と言うことである。これは何も  
農村に限らず、都市に於いてもあることであるが、  
特に農村に於て顕著にあらわれて来ることだと思  
う。且て大住という農村で10年間を過ごして来たわ  
たしには、そのことがよくわかる。それは決して安  
易な道ではない。農村伝道はたやすく進展するもの  
ではない。そのことは認めるのであるが、そこに何  
か行き詰まりを感じて途惑っていたり、あるいは半  
ば投げやりになって他への逃避を考えたりしている  
ようなことはないであろうかと考えさせられるので  
ある。社会学的に色々な困難を数えあげて、その打  
解の方策が練られている。なる程結構な方策である  
が、それが計画どおりするすと行くものではない。  
そして、やっぱりどうにもならないと言うことが起  
って来る。このように相手を見ることは確かに必要  
であるが、余り相手ばかりを見ていると、恐れ心が  
出て来るのではあるまいか。むしろ、わたしたちは  
目を神に、イエス・キリストに注ぐべきではないで  
あろうか。パウロがコリントに伝導した時、商業都  
市コリントは悪徳にみちて、福音が受け入れられ  
そうにもなかった。その中で、悪戦苦闘しているパ  
ウロに、主は幻の中で「恐れるな。語りつづけよ、黙  
っているな。あなたには、わたしがついてる」と告  
げ給うた。この事実を目を注ぐときに、恐れは消え、  
勇気が出るのである。如何程困難な戦いをしてい  
ても、主がついていて下さることを覚える時前途への  
確信をもってやり通して行くことが出来るのである。  
1966年発行「ガリラヤ」(日本キリスト教団世光  
教会「祈りの集い」の機関紙)より